

# 大阪労連・東日本大震災対策本部ニュース

NO.17-(2) 2011年 4月26日

発行：〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

大阪労連・東日本大震災対策本部

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

## 宮城県労連激励訪問

宮城県労連では鈴木新議長、鎌内秀穂事務局長に被災状況をお聞きしました。

宮城では沿岸部での津波の被害が甚大で、しかも広域であるため、行方不明者の集約もできていないとのことでした。沿岸部は壊滅的で若林区は57%が浸水、荒浜地区の建交労の事務所が流され、県労連加盟の組合員28名が犠牲になられたそうです。

被災地の石巻、塩釜などで救援物資が不足しているそうで、特に、米、野菜、缶詰類が欲しいそうです。

福島原発の影響について、県は人体に影響はないと言っており、女川原発があるにもかかわらず、水や農産物の測定器ももっていない状況だそうです。

また、行政の対応では岩手はすすんでいるが宮城が一番遅れているそうで、義援金もまだ渡っていないとのことでした。



## 仙台市若林区荒浜地区

4月23日(土)、9時30分に宮城県労連に再度お伺いし、被害の大きかった荒浜地区を建交労宮城県本部の鈴木一利書記長にご案内いただきました。

被災地はすべてのものが流され、見渡すかぎりが見えぬ状態で、どこから手をつけたらよいのかわからない状態で声を失いました。

浜には200体以上のご遺体が打ち上げられていたそうです。

小雨が降る中、被災されたおじさんがおられ話を聞くと、「漁師で50年以上働き、数年間に4200万で家を建てたが、屋根だけがそこに残っている」と淡々と話されました。

各単産・地域での取り組みをお送り下さい。大阪労連・東日本大震災対策本部ニュースで紹介させていただきます。